

VGCU-3362 (H) 型 n連棟

建築面積	20.22 × n m ² (6.12 × n坪) (間口柱芯寸法) × (奥行柱芯寸法)
------	--

構造耐力上主要な部分の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料	有効細長比
前 柱	□-85 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後 柱	□-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱 (左右)	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
後 柱 (中)	□-85 × 84	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74.5
前 柱 (中)	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	81.1
中 柱 (中)	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	78.3
梁 補 助 柱	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	68.6
補 強 柱	□-85 × 44	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	134.7
桁 前	㇏-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中	㇏-181.5 × 69.5	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中 補 強	㇏-180 × 48	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 後	㇏-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
桁 後 補 強	㇏-138.5 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁	㇏-310 × 114	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁 補 強	㇏-343 × 80	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	㇏-25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	—	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	—	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル鋼 STKM	
アンカープレート	—	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

構造耐力上主要な部分以外の部材

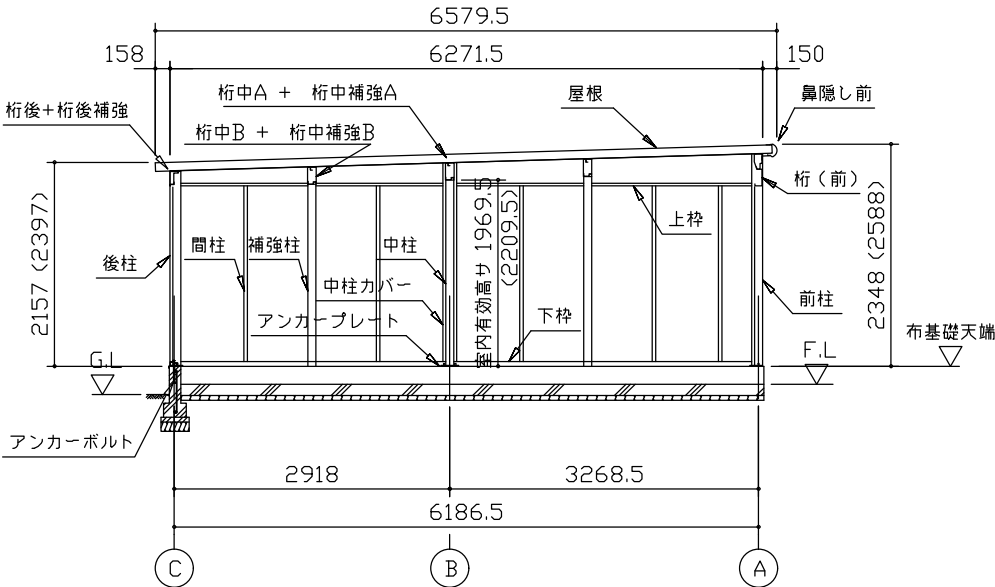
部 材 名	形 状	板 厚	使用材料
上 枠	㇏-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下 枠	㇏-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	㇏-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間 柱	㇏-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋 根	㇏-88 × 600	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	㇏-14.5 × 71	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 前	㇏-130 × 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
ケ ラ バ	㇏-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)

・連棟する場合、強度上、下記条件で連結部に中間ブレース、もしくは間仕切りセットが必要になります。

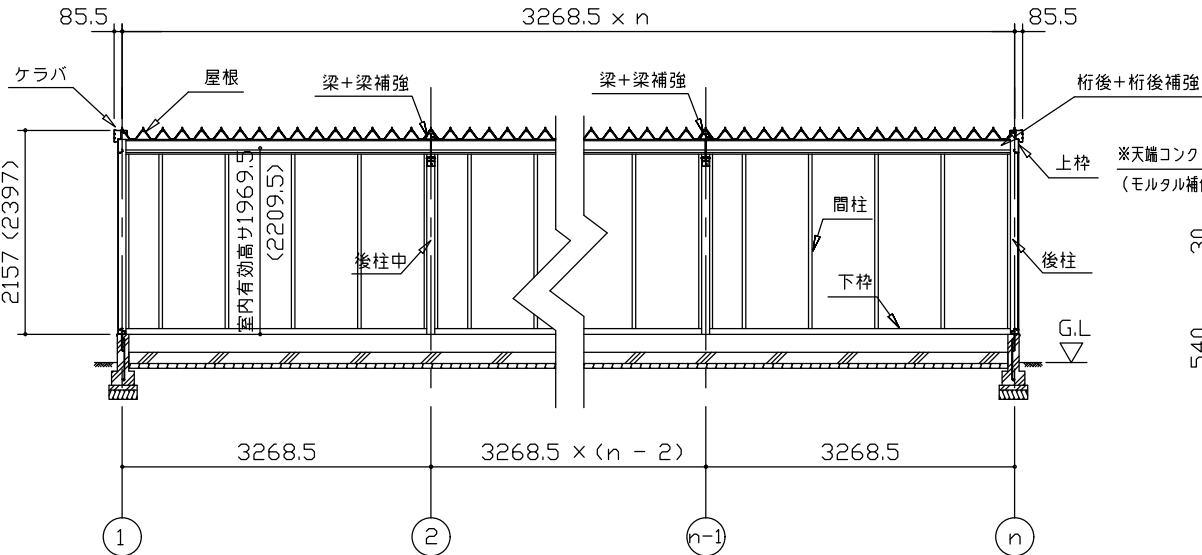
積雪地型 (4500N/m²)

本体高さ	中間ブレース取付必要寸法
標準タイプ	間口7.00m以内に1ヶ所
Hタイプ	間口6.65m以内に1ヶ所

※地震力による計算値

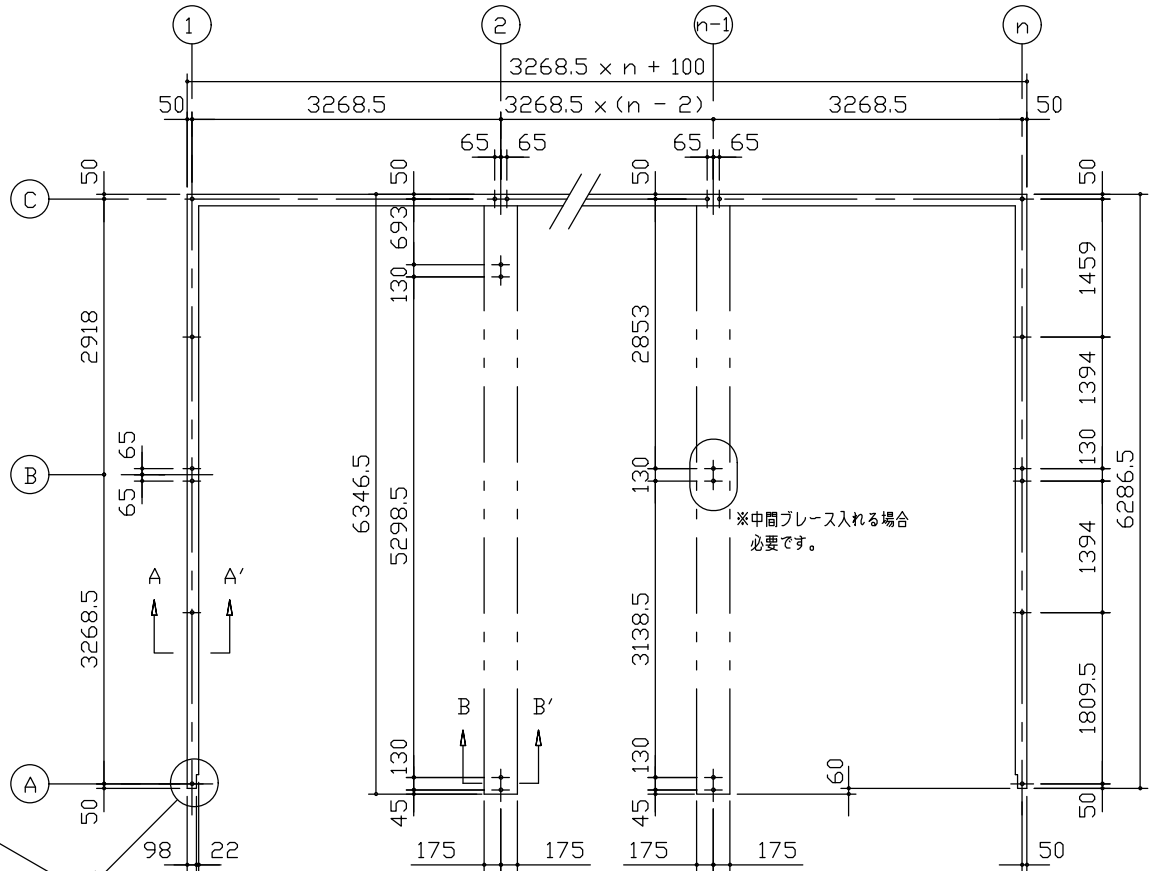


側 面 断 面 図 (S= 1/80)



正 面 断 面 図 (S= 1/80)

・() 内寸法ハ、Hタイプラ示ス。
・有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。



布 基 礎 伏 図 (S= 1/80)

・布基礎断面図 縮尺=1/20

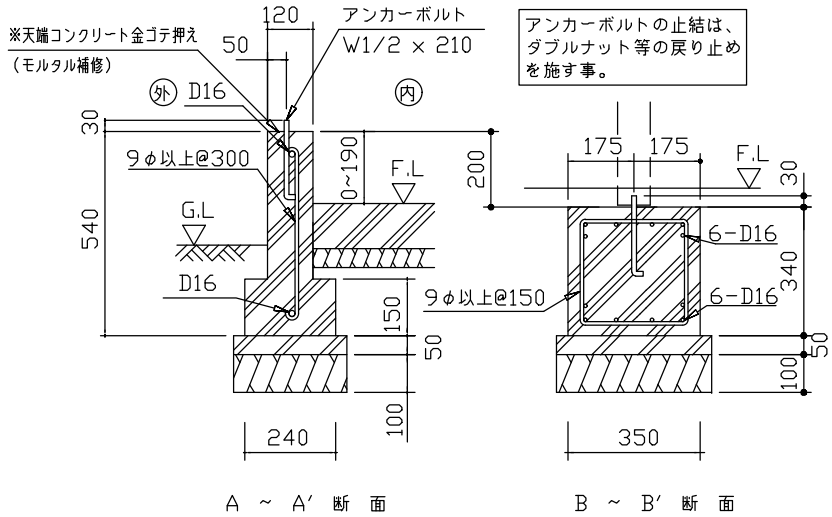
(地耐力 50kN/m²以上,コンクリート設計基準強度 18N/mm² 以上)
(基準風速 34m/s , 地表面粗度区分Ⅱ)

＜上記条件での参考図です。＞

注1)地耐力が 50kN/m² 未満 (30kN/m² 以上) の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。

注2)寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3)その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



名 称 ヨドガレージ ラヴィージュⅢ

機種名 VGCU-3362(H)型 (n連棟)

株式会社 竜川製鋼所